

## 様式第2号(第8条関係)

## 審議会等会議録

会議の名称	令和6年度第3回第20採択地区教科用図書採択地区協議会
開催日時	令和6年7月18日(火) 午前9時00分から午前11時00分まで
開催場所	羽生市役所 4階 第1委員会室
議長氏名	秋本 文子
出席委員	小野田 誠      遠藤 康江      松永 修 駒澤 幸浩      田村 和代
欠席委員	なし
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議事 (1) 協議 (2) 選定の方法について (3) 選定 (4) 選定結果の報告について (5) 今後の予定について 4 閉 会
会議資料の名称	【次第】 【選定方法フローチャート】 【令和3年度使用中学校教科用図書採択結果】 【資料1】第19・20採択地区教科用図書研究調査報告書 【資料2】埼玉県教育委員会調査資料 【資料3】各中学校、保護者研究調査結果報告書
会議の公開又は非公開の別	一部非公開
非公開の理由	静謐な調査研究環境及び採択環境の確保のため
傍聴者の数	9人
事務局職員職・氏名	加須市教育委員会学校教育課長 高橋 一也 羽生市教育委員会学校教育課長 蓮見 典昭 加須市教育委員会学校教育課指導主事 菅谷 優子 羽生市教育委員会生涯学習課指導主事 小島 敏
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号 (第8条関係)

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
蓮見学校教育課長	【開会】
第20採択地区教科用図書採択地区協議会長 秋本 文子	【あいさつ】 あいさつ 第20採択地区教科用図書採択地区協議会長
蓮見学校教育課長	【議事】 本日の資料確認 ① 次第 ② 選定方法フローチャート ③ 令和3年度使用中学校用教科用図書採択結果 ④ 教科用図書調査研究報告書 (第19・20採択地区 調査員調査研究会) ⑤ 令和7年度使用中学校用教科用図書調査資料 (埼玉県教育委員会) ⑥ 教科用図書調査研究報告書 (第20採択地区内各中学校・保護者代表) 協議に入る。協議の進行については、第20採択地区教科用図書採択地区協議会規約第9条第2項により、第20採択地区教科用図書採択地区協議会 会長 の 秋本 教育長 にお願ひする。
秋本会長	はじめに、本協議会の公開についてお諮りする。採択地区協議会規約第10条により、この会の協議の部分は公開とする。後半の選定については公正・公平かつ本協議会の独自性を維持するため、非公開としてよろしいか。
各委員	(賛成の声)
秋本会長	賛成多数により、本協議会の協議の部分を公開に、選定の部分を非公開とする。傍聴人がいれば、中に案内するよう願う。
	(傍聴人 9人 着席)
秋本会長	【協議】 それでは協議に入る。
秋本会長	国語について、意見はあるか。
遠藤委員	どの教科書も読み物が充実していると感じた。読書に向かわせるように構成されている上に、各学年を通して社会生活とつながる読書活動が示されていると感じた。また、QRコンテンツから学習の参考となる資料や動画を閲覧することで、予習、復習も自分のできるように工夫されていた。その中でも、巻末資料に語彙ブックが掲載してある光村図書は、生徒の語彙力を養うのに最適だと考える。自分の言いたいことを文章にするのがとても苦手な子が多いと言われている中、自分の語彙力を生かして、文章力を学ぶことができるので、必要不可欠になる教科書ではないかと考える。

松永委員	<p>国語科は、日常に生きて働く言語能力を身に付け、言葉の力で課題を解決していけるようにする、そのことを目的とした教科書であると考えている。このことを踏まえて教科書を見ると、大きく3つのポイントがある。1つ目は、教材が中学生の発達段階に即した魅力的な価値のある内容か。2つ目は、生きて働く言語能力を身に付けるために、教材が学習指導要領の指導事項に即した学習活動を効果的に展開できる表現等の特性をもっているか。3つ目は、学習指導要領に示された目標や指導事項に合致した能力、態度を身に付けることのできる学習活動を意図しているか。これに加えて、実生活へ発展させるための資料や知識・技能を身に付けるための資料が工夫されているかということ、この地域の子供たちの実態に即しているかという観点でも見た。</p> <p>どの出版社も、非常に高いレベルで完成されていると感じたが、光村図書には、「学習の見通しをもとう」や「思考のレッスン」、「学びへの扉」、「学びのカギ」、「語彙ブック」、「資料編」がある。以上のことから、子供たちの実態を踏まえると、活用しやすく、効果的な教科書だと感じる。</p>
秋本会長	書写について、意見はあるか。
遠藤委員	<p>デジタルの普及によって文字を書くことが少なくなっている現代で、書写は、美しい文字を書くことの素晴らしさを感じられる学習になってほしい。子供たちが実社会において美しい文字を書くことによって、いろいろな場面で得なことがあり、人を惹きつける力にもなると考える。その意味で、まずは文字に対する興味を引くために、日常生活にある様々な書体等を学ぶことで、文字に対して興味が出ると感じる。また、書く活動の時間を確保している教科書にとっても魅力を感じる。光村図書と三省堂の2社で迷っている。</p>
駒澤委員	<p>国語の教科書との関連性がどうかということを中心に考えた。筆の書き方や表現の仕方について擬音や数値で表現しているものがあり、非常におもしろい。左利きへの対応についての記載の有無をポイントとして見た。どの教科書もデジタルコンテンツが非常に充実しており、本当に甲乙つけがたい。個人的には、最初に申し上げた国語の教科書との関連性を重視して選択をしたい。</p>
松永委員	<p>書写については、整った字を書くことだけでなく、このことを実際の生活の中に生かすことを意図しているかということも重視して教科書を見た。授業を中心に使う教科書だと考えると、見やすさ、分かりやすさ、学習すべきことが焦点化されていることが大切だと考える。その一方で教科書を見ると、授業だけでなく授業後も活用すること</p>

田村委員	<p>ができるものだというのを強く感じる。いずれにしても、どの教科書も非常に素晴らしくできている。</p> <p>デジタル化が進む中でも日本の文化である手紙や毛筆を活かしていなければならないという観点で見た。教育出版や光村図書は、なぞり書きや書き込みが豊富である。</p>
秋本会長	<p>社会科について意見はあるか。</p>
駒澤委員	<p>地理的分野は、歴史的分野や公民的分野、地図と関連していると考ええる。国語科と書写同様、可能な限り関連性を重視して選択していきたいと考える。地理的分野では、各出版社で地域の産業のデータの掲載の仕方が違っている。また、地元の情報量もポイントとして見た。各出版社ともに非常に優れた内容で、非常に甲乙つけがたい。</p>
小野田委員	<p>社会科や理科については、小学校の学び直し、さらに深く学ぶという点で関連性のある教科のため、現行使われている小学校の教科書を踏まえながら、検討している。地理的分野や歴史的分野に関しては、小学校での学習後、課題をもって中学校1年生で深く学ぶ機会があるので、そのあたりを大切に、子供たちの視点に立って選びたいと考える。</p>
松永委員	<p>社会科の教科書について課題解決的な学習が実践しやすいもの、課題解決に必要な、多面的かつ豊富で適切な資料があるもの、生徒が歴史的分野や公民的分野に関わる内容に興味をもって教科書を活用して自主的に学習できるもの、つまり授業が終わった後も教科書を何度も使って学習できるようなものになっていることが必要だと考える。歴史的分野については、特に日本と外国の歴史の時代的なすり合わせが子供たちの思考の中でできるような仕組みになっていること、内容が見やすくなっていること、歴史的な事象や人物の取り扱いについては軽重がある中でバランスが取れていること、歴史の流れの中で重要なところにポイントを置いていることを観点として見た。このような点で判断していきたい。</p>
遠藤委員	<p>どの教科書も本当に写真とかイラスト等の資料がとても豊富で、それらを見ているだけでも生徒は、歴史に対する興味が湧くのではないかと感じた。 その中でも東京書籍は、各章の終わりにステップチャートがあり、それを用いて授業で学んだことをつないで、確実に定着するような工夫があり、とても良いと感じた。</p>

駒澤委員	小野田委員がおっしゃっていた通りで、歴史についても小学校からの学び直しは非常に重要だと思った。また、デジタル教材との相性を見ていかなければならないと思った。挿し絵が教科書のどこに記載されているかを覚えている子がいると聞いたことがある。このことから画像から得るものは、非常に多いと考える。
遠藤委員	公民的分野については、各章のまとめにその章で学ぶことの課題を示している教科書がとて多い。そして、章の終わりには学んだことをまとめられるように工夫されている。現代を生きていくための社会の仕組みや諸問題、将来生きていくために考えなければいけないことを深く学べる教科書に興味をもった。
駒澤委員	公民的分野も社会科の学習のひとつである以上、歴史的分野や地理的分野との関連性について考えている。各出版社ともQRコンテンツで資料を補完しているので、どの出版社を選択しても良いと考えた。
秋本会長	地図について、意見はあるか。
小野田委員	2社とも甲乙つけがたいのが率直な感想である。子供たちが地図帳で学べることがたくさんあると改めて感じた。地図帳に記されている情報は、大人になっても見直すと興味をもてるような内容だと感じた。
秋本会長	地図の教科書は、ずっと読んで楽しめると感じた。
遠藤委員	2社とも見やすく、地域の特徴がとてわかりやすいように表現されていた。地図から世界や日本各地について興味をもたせるイラストやQRコンテンツへのアクセスにより、本当に世界旅行をしているような気分になる教科書であった。印刷されている色彩の影響と思うが、帝国書院の方が目に優しい印象があった。ただ、どちらの出版社も良いと思った。
駒澤委員	地理的分野との関連性を重視した。ある方の言葉を借りると、災害の観点で見た場合に、この地域はどうしても利根川を背中に背負っているようなエリアのため、ハザードマップ等の情報や川の氾濫が発生した時に、どのような状況に陥るか等が記されているかを見た方が良いと聞いたことがあった。以上のような観点で見た。
秋本会長	数学について、意見はあるか。
小野田委員	数学の教科書を選ぶのが1番難しいと思った。中学校1年生の子供たちの実態から考えると、数学に対する興味関心や学力差がちょうど

<p>松永委員</p>	<p>出始めるところであると考え。したがって、教科書を開いた時に学ぶべき動機が見えてくるものや躓きに気付いて振り返られるもの、更に学びたいと思う子供のためのものが用意されているという、非常に複線化しているようなものが必要だと思った。例えば、習熟度を上げていくための問題数が多い教科書や問題数は減らして振り返りを重視した教科書、非常に数学が苦手な子供に対しては、最初に開いた印象の良い教科書が良いと思った。</p> <p>数学の特徴として、子供たちのスタートラインが同じでない状態である。小学校1年生から積み上げた知識や技能等を使って、授業で問題を解いていくことになるため、習熟度に差がある。既習事項を基にしながら新たな問題を解き、そこから生まれた知識や技能を定着させていくという活動が数学の学習のシステムだと考える。また、学習内容をできるだけ定着させるための配慮として、デジタルコンテンツ等が活用できるかという点を判断基準として見た。本当に各社とも工夫されている。この地域の子供たちに合っているものはどれかを考えたい。</p>
<p>田村委員</p>	<p>小学生から中学生に入る時点で、算数から数学という教科名が変わる。この点から、新1年生が学びに入りやすく、苦手にならないような観点で見た。また、生活に活かされる数学を意識している教科書はどれかを見た。</p>
<p>遠藤委員</p>	<p>どの教科書も巻頭で、教科書の使い方やICTの活用方法等を掲載し、教科書でより有効に学べるように示していた。また、ある教科書の中には、日常生活で数学的思考によって様々なことを問題解決できることを学べる教材や数学を仕事に活かしている職業の紹介があった。これらによって、数学に対する興味をもつことができると感じた。学んだことを忘れないように振り返りができる教科書が多くある。1社に決めるのは悩んでいる。</p>
<p>秋本会長</p>	<p>理科について、意見はあるか。</p>

小野田委員	<p>どの教科書も非常によくできていると思う。教科書を選定するにあたり2点考えていることがある。1つ目は、理科は仮説や予想、見立てや見積りのような自分の考えをもつことが、とても大切な教科である。考えをもつことが調べることにつながるため、子供の思考のプロセスに合っているかどうかという点である。2つ目は、実験、観察をした後のまとめや振り返りで活用する際に、教科書は資料集の役割をすることが大いにある点である。その2点で、どの教科書が良いか非常に悩んでいる。教科書で調べてみようと思っただけの教科書、ワクワクドキドキする教科書が選ぶ際の1番のポイントだと考える。</p>
遠藤委員	<p>理科の教科書は、どの出版社も実験の説明の写真やイラストがとても丁寧に記載され、実験に対する配慮をととても感じた。また、理科を学ぶ意義が記されている教科書もあった。教科書によっては、「みんなで探Qクラブ」というところに、疑問に思ったことから課題へ導いたり、仮説から考察に至るまでの基本的な考え方を導いたりするものがあった。考える習慣を身に付けられるように工夫されていると感じた。</p>
駒澤委員	<p>かつては教科書のサイズについて議論されていることがあったようだが、現在は、タブレット端末で様々なことを調べられるので、教科書のサイズは、どのようなサイズでも問わないと考える。また、現代社会との関連で、石油等の資源の確保や資源を使い続けることに対するリスク、代替エネルギー等を紹介する内容の教科書になっていくと、子供たちの課題解決の力が身に付いたり、社会への見方が大きく変わったりしてくると思う。非常に興味深く読ませていただいた。</p>
秋本会長	<p>音楽について、意見はあるか。</p>
遠藤委員	<p>2社ともに様々なジャンルの音楽や楽器を紹介していた。QRコンテンツにアクセスすると、音を直接聴くことができるので、音楽に対する興味を高めると思った。教育芸術社は合唱曲がとても多いと感じた。中学生は合唱をする機会も多いと思うので、教科書が役に立つと感じた。</p>
秋本会長	<p>美術について、意見はあるか。</p>
松永委員	<p>美術の教科書については、どの出版社も教科書自体がアートだと強く感じた。また、アニメを含む現代美術、日常生活にある美術、造形、普遍の大作・名作、日本の伝統的な美術に触れることができる。鑑賞と創作が一体化していると思った。美術は、やはりワクワクドキドキしながら作品を作りたいという気持ちや自分なりの作品ができた時に、思うように表現できたという達成感を味わう気持ちをもてることが大切だと考える。</p>




小野田委員	<p>美術の教科書も甲乙つけがたい。中学校の美術の時間は非常に時間数が少なく、作品を創造したり、鑑賞したりする時間における教科書の活用を考えると、3社とも写真や参考作品のレベルが高い。これらの教科書であれば、授業はもちろん、授業以外にも子供たちが教科書を開くのではないかと感じる。小学校の教科書選定の際も感じたが、格段に参考となる作品のレベルが上がっていると感じる。少ない授業時数の中で、教科書がどのような役割をするかという視点で考えている。</p>
遠藤委員	<p>美術の教科書においては、どの教科書も見開きのページがとても迫力があって、作品に引き込まれる感じがした。様々な資料やQRコンテンツで見られる作品が、生徒の学習意欲を引き立てると思った。光村出版は、生徒の作品が見られるだけでなく、作者の生徒が工夫した点をインタビュー形式で答える動画があり、自校以外の生徒の作品に対する思いも感じられると思った。表紙が工夫されている開隆堂の教科書は生徒の心をつかむと感じた。</p>
田村委員	<p>社会科の歴史的分野や道徳科との繋がりを感じた。鑑賞のページでは子供たちの心を豊かにすることができると感じた。</p>
駒澤委員	<p>しっかりと作品を見せることにこだわっている教科書と作品の作り方を伝えることを重視している教科書の特徴が色濃く出ていると思った。授業時間が少ないため、教科書を見た時に作品を作るイメージをもたせることを重視していると感じた。インパクトが個人的に大事だと思った。</p>
秋本会長	<p>保健体育について、意見はあるか。</p>
遠藤委員	<p>感想になると思うが、どの教科書も各章のはじめに、この章で学習することが端的に書かれていて、課題と学習の流れが示されていた。東京書籍の端末スキルブックがとても充実していて、日常生活において役立つ内容が記載されていると感じた。各出版社とも健康や安全に関する学びが分かりやすい。</p>
松永委員	<p>授業時数が少ない教科のため、教科書の分かりやすさ、ポイントが絞られていることが大切だと感じた。また、教科書を活用することで、教えるだけではなく、自分の生活を振り返りながら、子供たちに課題意識をもたせ、課題を解決しつつ理解を深めること、さらにもう1度自分の生活に戻し、一生涯にわたって考えていけるような態度に繋げることが大切だと感じた。使いやすさの観点で教科書を見たが、選ぶ</p>



小野田委員	<p>のは難しい。</p> <p>保健体育は、身体的活動の方が重視されがちだが、生活との結びつきが義務教育を終える子供たちへ伝える1番のポイントだと思っている。教科書を読んで学ぶと、将来の生活について見えてくるものがあると思った。技能の習得も大切だが、知識の習得や思考できること、振り返りることができる点から教科書を選ぼうと思っているが、選ぶのは難しい。</p>
秋本会長	<p>技術・家庭科について、意見はあるか。</p>
遠藤委員	<p>どの教科書も資料が豊富で、制作物に関して分かりやすくまとめられていると感じた。特に東京書籍は、ほとんどのページでキーワードが記載されているので、先生と生徒が学ぶ内容について明確だと思った。また、家庭科は、学ぶ内容が多いと改めて感じた。毎日の自分の生活を振り返りつつ、課題解決へ導くように、丁寧かつ親切に記載されていると感じた。東京書籍は、教科書内の資料が多い印象があった。</p>
駒澤委員	<p>技術科・家庭科とも、生きていくための知識を学ぶための教科だと思った。教科の内容を広く捉えると、今後の日本の産業にも繋がる内容だと思った。自分自身が自営業の製造業で、ぜひ、製造の話題を扱ってもらいたいと考えている。日本の今の産業を見て、IT関係等が様変わりしていることを考えれば、技術の継承についても大切にしつつ、今の時代に合った産業の説明のような幅の広い内容を扱うことが良いと考えている。</p>
秋本会長	<p>英語科について、意見はあるか。</p>
小野田委員	<p>加須市の実態を考えながら教科書を見た。本市の中学生の英語科の課題が書くことである。授業を見ていると、表情や身振り、英語を使ってコミュニケーションを取るということはできているように思うが、書くことが課題に感じる。この課題への解決方法を考えている。教科書を活用する先生によって様々な考えがあると思うが、最終的に入試があるため、書くことの課題を解決する点で教科書を考えたいと思う。</p>
遠藤委員	<p>ほとんどの教科書が最初のページに教科書の使い方や登場人物の説明、学習に関することが書かれていた。光村図書は、世界の人口の80億人に対して5億人が英語を話すこと、世界には7000以上の言語があるのにも関わらず、WEBサイト上で使用されている言語の60パーセントが英語であると掲載されていた。そのような内容から、子供たちが英語に興味をもつように、具体的な数字を示して英語を学</p>

<p>松永委員</p>	<p>ぶ意義を伝えていると感じた。英語を学んで、損はないと思う。世界の人々と繋がりたいと思った時には、英語力は本当に心強い味方になる思っている。友達から聞いた話だが、英語の文法が分かっていない子が多くいるそうである。現在、授業で話すことは多いが、文法が分かっていない実態があるそうである。この状況だと、英語力が十分に育まれないと思うので、文法はきちんと教えてほしいと日頃から友達からよく聞いている。文法とコミュニケーションが両輪で学べるような英語の学習になってほしいという考えで教科書を見た。3社で迷っている。</p> <p>どの出版社もストーリー仕立てに興味をもって学べる教科書となっている。今の英語はコミュニケーション能力を高めるということに焦点を当てているため、実生活に役立つ英語だと強く感じる。一方、読むこと、書くことについて、試験や問題を解くことを考えていくと、絶対に避けて通れないものであると、バランスが大切だと感じる。したがって、読むことや書くことの活動がしっかり設定されているとともに、教師の意図で、それらの学習を進められると良いと思う。生徒は、文法に関する知識の習得とその活用ができなくてはならないと考える。</p>
<p>田村委員</p>	<p>羽生市は、外国人の生徒がとても増えている。私も読むこと、書くこと、文法がとても大切だと考える。また、学習の流れが分かりやすく、目標をもって学習を進めていける教科書が良いと思った。</p>
<p>秋本会長</p>	<p>生徒の実態を考えると、2社で迷っているが、現場の先生方の声を大事にしていきたいと考える。</p>
<p>秋本会長</p>	<p>道徳について、意見はあるか。</p>
<p>遠藤委員</p>	<p>道徳の教科書を読んで、様々な分野の物語やエピソード、エッセイ等から自分の生き方を見つめる教科だと改めて思った。本離れが言われている中、子供たちが読むのは苦手になっているので、長い文章は良いのかと思ったが、漫画等を取り入れて、文章を読みやすくする工夫がされていた。たくさんの出版社の教科書を見たが、日本文教出版の道徳ノートに直接書き込むことができる冊子はとても便利に使えと感じた。</p>
<p>松永委員</p>	<p>道徳は、教材を読んで内容を理解する学習ではない。場面ごとに友達と考え、議論することにより、他者の考えを知り、自分の内面を見つめる。それによって生き方を自覚するというのが道徳の学習だと捉</p>

	<p>えている。また、話合いのポイントと、いわゆる道徳ノートが大切であるとする。話合いのポイントについては、ポイントになる部分の示し方が重要になる。各社とも、ポイントが非常に詳しく示されている。いわゆる道徳ノートについては子供の実態に合ったものかどうか大切である。このようなどころを中心に見た。</p>
小野田委員	<p>全部の教科書を読んだ。読み始めると、次の読み物資料も読みたくなかった。感想として読み物資料は短くなっている傾向がある。この理由は2つあるとする。1つ目は、子供たちの読解力等に合わせているということである。2つ目は、SNSが進んだ世界の中で、短い文章で相手を理解するのは非常に難しいことである。様々な考え方があり、様々な誤解を生む。短い文章によって、道徳科が目指している考え、議論する道徳になっているのだとする。したがって、教職員を含めて非常に使いやすい教科書になっているとする。教科書を比較するポイントは、資料的価値だと感じた。</p>
田村委員	<p>道徳に関しては唯一答えのない教科書だと思う。どの教科書が良いか迷っている。これからの生徒の生き方にプラスになるものが得られる教科書が良いと思った。</p>
秋本会長	<p>道徳に関しては、考え、議論する道徳を通して道徳性を育成するとともに、教科書で現代的な課題を取り上げていることがとても大切だと考える。</p>
秋本会長	<p>全体を通じて、意見はあるか。</p>
各委員	<p>(意見等なし)</p>
秋本会長	<p>以上で協議を終了する。ここで休憩に入る。休憩後の選定については、採択協議会規約第10条により非公開となるので、傍聴者は退席願う。</p>
	<p><b>【休憩】</b></p>
	<p><b>【選定】非公開</b></p>
	<p><b>【選定結果の発表・確認】</b></p>
秋本会長	<p>これで、選定協議を終了とする。次に、事務連絡に移る。事務局より連絡願う。</p>
小島指導主事	<p><b>【事務連絡】</b></p> <p>選定結果の通知を本日以降、各委員会宛送付する。各市の採択結果等の情報公開につきましては、両市同時にホームページで公開とし、各市の情報公開条例に基づいて対応願いたい。経費については、決算後、直ちに各市教育委員会に会計報告書を送付する。</p>

	質問、意見はあるか。
各委員	(質問、意見なし)
蓮見学校教育課長	【閉会】
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>令和6年7月30日</p> <p>署名 <u>秋本文子</u> </p> <p>署名 <u>小野田 誠</u> </p> <p>署名 <u>駒澤 幸浩</u> </p>	